

🎁 まちの声&プレゼント

本紙への感想、身の回りであった出来事や日常生活で感じたことなどをお寄せください。
お便りをくれた人の中から、マチダ洋品店より商品券500円分を10人にプレゼントします。

■応募締め切り 4月13日(金)当日消印有効
※当選者の発表は10日前後で、引換券の発送をもってかえさせていただきます

■紹介・回答 お便りは個人を特定できる情報を削除し、要約して広報紙でご紹介させていただきます場合があります。また個別の回答は行っていません

■応募・問い合わせ ハガキかメールに住所・氏名・性別・年齢・電話番号・まちの声を明記して〒375-8601(住所不要)市役所秘書課広報広聴係「まちの声」応募係・✉hisyo@city.fujioka.gunma.jpへ

プレゼントの提供者を募集しています。
秘書課広報広聴係☎2208までご連絡ください。



商品券500円分

天然素材の綿・麻を手染めした自然色豊かな体に優しい洋服です。

楽しく軽やかに気軽に何か始めたい春。大人のカジュアル服、お出掛け服、ワコール商品をセレクトしました。

(学校用品取扱店)

マチダ洋品店

*住所 藤岡市藤岡98
*電話番号 ☎220273
*営業時間 午前10時～午後7時
*定休日 水曜日

先日、孫の通う小学校の音楽発表会を鑑賞してきました。司会進行から指揮、伴奏まで全て子どもたちによるもので1年生から順々に大変素晴らしい合唱や合奏が披露されました。先生たちのご指導もさることながら、子どもたちの目を見張る成長に感謝感激の一日でした。(50代・女性)

音楽発表会は子どもたちの成長が感じられる行事の一つですね。その確かな成長を目の当たりにするのは、とても喜ばしいことです。

月に2回広報を読むのとても楽しみです。小さな事柄でも心が温まるような情報をこれからも載せてください。(60代・女性)

広報ふじおかをご愛読いただきありがとうございます。また、市民の皆さんがより興味

まちの声

みなさんからの声を紹介します
※プレゼント当選結果とは関係ありません

このほか2通のお便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上要約させていただくことがありますのでご了承ください。

広報ふじおか3月1日号「藤岡元氣人」のコーナーで前橋育英高校サッカー部で活躍した松田君の話が載っていました。今回の高校サッカー選手権大会では、テレビ中継をとってもワクワク、楽しく拝見していました。そのキーププレーヤーとして本市出身の彼が活躍していたことはとても素晴らしいことです。これからも彼の活躍に期待したいです。(50代・男性)

「藤岡元氣人」では各方面で活躍している元氣な市民をピックアップして紹介しています。もしお近くに頑張っている人、活躍している人がいたらぜひいらしまし、広報職員へご紹介ください。



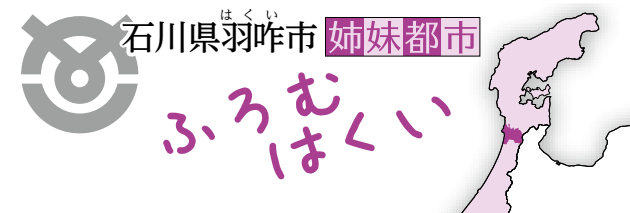
耳より情報

会遊亭で
ちよっとひと休み

大正時代に建てられた蔵を活用して開設された藤岡の情報発信施設「会遊亭」。観光案内所として利用されている他、本格的なコーヒーなどを楽しめるカフェもあります。またカフェに併設されたギャラリーでは絵画や写真などの展示を随時行っています。トイレも完備されていますので、まちなか散策の休憩所としてぜひ立ち寄りください。

information

住所 藤岡市藤岡81-1
時間 午前10時～午後7時
定休日 火曜日
問い合わせ ☎258411



↑ 地元で活躍する社会人が講師を務めるプレ講座を開催。

地域を思う人財を育てる

羽咋高に“地域未来塾”開設

羽咋市を中心とした能登の“ヒト、モノ、コト”とつながり、自分たちの住むまちの価値を掘り起こす新しいスタイルの塾“地域未来塾”が、4月から羽咋高校でスタートします。入塾した生徒は、月1回程度、地元で活躍する人による講義や地域の魅力発掘に関わるツアーを通して能登の魅力を学び、地域における“自分らしさ”を探究するカリキュラムが受講できます。

塾の発起人は、市内在住の20代の若者2人。「地域を思う人がつながり、地域を思う人財を育てていく」を合い言葉に地域未来塾は活動を行っています。今後は同校の生徒が、地域の新たな可能性を引き出してくれることが期待されます。

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～ No.25

問い合わせ 文化財保護課(☎235997)

復元竪穴住居

～機能性に優れた古代の住居～

藤岡歴史館の野外展示として、古墳時代後期の竪穴住居1棟が復元してあります。主要な柱や横木などに丸太材を使用し、屋根骨組みの垂木などには、竹を利用してあります。屋根材は、本来使われるアシの入手が困難であったため、麦ワラを使用しました。

復元してみると、さまざまな機能的構造がある事がわかりました。屋根の形は切り妻形をしていたと推定され、日差しを暗い住居内に取り入れ、かまど使用時に住居内に充満する煙を室外に出すことができるよう作られていたと考えられます。しかし、切り妻構造では両側より雨が吹き込み、また屋根最上部の棟部は、雨漏りの原因となります。これらを防ぐため、最頂部をせり出させていたと推定されます。さらに、千木のようにV字状に組ませた間に束ねた麦ワラを横位に置き、雨漏

りを防ぎました。
当時、このような竪穴住居が2～3軒で構成された家族集団で暮らしていたと考えられます。



復元された竪穴住居